

祭式(三級・四級)認定講習会のご案内

とき：令和4年3月5日(土) 午前9時30分 受付 場所：三河本苑
3月6日(日) 午後5時まで(認定試験終了後解散)

【プログラム】

3月5日(土)		3月6日(日)	
9:30	受付	9:30	受付
10:00	ご神前礼拝	10:00	基本作法
	基本作法		正中動作
	正中動作		祓式行事
			後取動作
12:00	昼食	12:00	昼食
13:00	祓式行事	13:00	献饌
	後取動作		月次祭の流れ
16:00	片付け		三級・四級認定試験
	終了	16:00	片付け
			ご神前礼拝
			解散

祭務部長 調子 真一
基本動作から月次祭が出来る動作までを実施します。
尚、宣伝使の推薦には祭式3級が必要です。この機会に取得してください。
【会費】講習費無料(食事代実費) 資料はお貸しします
【持ち物】お持ちの方は、笏・大本祭式の本・足袋・筆記用具・資料など
【服装】笏を懐中でできる服・簡易帯・古いスラックス・モンペ等動作のしやすいもの
【締め切り】令和4年3月1日(火)
【申し込み】大本三河本苑事務局 電話0533-69-7518

三河本苑だより

3月号

2022・3 No.478
(発行者) 大本三河本苑
〒443-0031 蒲郡市竹島町28-5
TEL.0533-69-7518
FAX.0533-69-1455

令和4年度「分所・支部長研修会」のご案内

教務担当

コロナ禍の終息を祈念しつつ令和4年度「教団方針」内の「私たちの6つの誓い」を実践できますように、信徒代表の機関長様にお集まりいただきます。「これの峻(け)は)しき時代(とき)に当り成(な)し行ふべき事々」を確認検討して、信仰の維持・継承を身近なことからも広げていけますように研修を予定しております。対象者の皆さまのご参加よろしくお願い致します。

【日時】3月27日(日) 10:00~16:00

【場所】大本三河本苑 ※令和4年度「教団方針」冊子を持参して下さい。

【参加者】分所長、支部長、各次長、本苑総代

私が朝食を摂らない訳

(最終)

三河豊田支部 杉山 孝
TPP交渉即時撤退のことを調べ始めて私が決めたことは、「病院に行かない身体作り」です。健康第一で、病院に行かなくても良い状況下に自分を置かないとなつた訳です。ここから「どうすればよいか」を考えました。そして実行したのが、今回の題目である「朝食抜き」です。

聖師さまは基本、「二日一食、十二時間おきに摂るのが良い」とお示しいただいておりますが、私がいろいろ調べて「腹落ち」しましたのは朝ごはん抜きで昼・夜の二食を摂るというものでした。一日三食の話は初めに載せました。16時間以上胃の中に食べ物が無い生活を習慣づけると、「体内の免疫力が上がる」という話が妙に「腹落ち」したのです。自分で体験して主に分かったことは、①体重の激減②他の健康維持方法に目が行く③実際、病院に行かなくなったことです。

新型コロナウイルスがここ2年大きく騒がれていますが、最近では「免疫力アップ」が感染防止に大きく寄与すると言われて始めています。もう5年になります。朝食抜きを続けて体重・健康の双方を維持しています。しかしながら聖師さまが言われる「労働が食う」と言われることについては量を増やす対応をすればいいでしょう。私は年と共に量を減らすようにしています。あとはその時の身体が何を欲するかに従つ

【聖師様の愛善の道】

あたたかき言葉の花は人みなもの

荒き心を和むものなり

えらえらにえらぎにぎおう人の家は

神の幸いおのずから来たる

3月の行事

●5日(土)~6日(日)

祭式3・4級認定講習会

●20日(日)

本苑三月月次祭

・全体会議

・直心会・みどり会総会

中止

●27日(日)

分所・支部長研修会

4月の行事

●17日(日)

本苑四月月次祭

●24日(日)

誠心会万祥殿献勞

芸術部

令和4年 春季大祭奉納冠沓句の募集

【冠句題】・永久に・天地(あめつち)の
・自らの

【沓句題】・振り返る

【×切】4月17日(日)の本苑月次祭までです。宜しく申し上げます。

ています。皆様もこの時期、「免疫力アップ」の観点からご一考いただければと思います。ありがとうございました。

尊師さまに学ぶ

特任宣伝使 芝田豊海

執着を去れ (後編)

「日出磨先生之旧稿(下巻)」より 大正十四年五月十日

世に偶然なるものは断じて無い。あなたの身边に毎時毎分起り来る一切の諸現象はこれ悉くごとく靈的暗示に外ならない。その時ふと思ひ、その時ふと見付け、その時ふと失う…などということは、みな靈的には秩序正しき因果法則が行われている迄であるが、現界人には悲しい哉(かな)その終局しか分からぬのである。

人がふと思ひ付いたのは、いわば靈界から鈴(ベル)が鳴って来たのであるから、出来る限り、これに應ずるのが最も靈界に対して忠実な

きている迄である。この世界は自分の器量で大きく作ろうと思えば幾らでも広大に開拓できるものであつて、固定的善悪感に囚われて居る間はいつ迄経つてもより一層の開拓ということはなしに終わる。

善悪は畢竟(ひつきよう)東と西との如きもので絶対の善も絶対の悪も断じてない。ある悪の件はない善はなく、また或る善の件はない悪はない。要するに物は観方(みかた)である。東へ行けば西を失ひ、西へ行けばそれだけ東を失うのはどうも止むを得ない。東も西も失うまいとすれば勢い微動だも出来ないことになつて了(しま)う。

飯を食いたいときに飯を食ひ、便所へ行きたい時に便所

に行つたらそれでよいのであるのに、飯を食うのは結構なことだが、便所へ行くのは怪しからぬことだと憤慨する流儀の古い頭ほど始末に了(お)えない。

宇宙本来、定面積なくまた定時間もない。自然界は只それらを模型として表徴(ひょうてい)してつゞけるに過ぎない。この単なる模型を一切としてこれに執着するほど狂愚なことはない。

執着は遲滞(ちたい)であり、腐敗である。自ら造りて自ら鎧(よろい)よそえる古い思想の殻を棄てて無限に美(うる)はしき無限の光衣(ひかり)をまとえよ。心の持ち方さえ変えれば世界は自由自在に変わつてゆくのである。

「伝えたい信仰の喜び」 ◆四代教主さまお示しに学ぶ 特任宣伝使 三矢 直 後継者育成を教団の最大の課題 子供のときから神さまをずっと拝んでいれば、大人になつても拝みます。はつきり言えば、後継者の育成は親御さんの姿勢次第です。子供は親の姿を見て、いつの間にか良いところも悪いところも見て育つていきますからね。親の姿勢が真面目でなければ、子供さんはずいぶん来ないです。特にお父さんが、奥さんにも尊敬され信頼されているようならまったく心配ありません。奥さんに批判されておつたら、まず駄目ですね。「笑」

私の手帖 三代さま お蔭について

現在、大本の人は、神さまのお蔭になれ過ぎています。それほど大本の人には、沢山のお蔭があるのです。人間はお蔭になれ過ぎると、少々のことではお蔭とも思わないようになってしまいます。世間には、大本の人がそれほど思わないことでも、非常なお蔭として感激している宗団があります。

ちょっとしたお蔭と思うことでも、それを空しく埋もらさないで、神さまの坐(ま)しますことを証(あか)すお光とし、信仰の世界に多少とも人々を導くことが本当ではないでしょうか。わたしたちはいただいているお蔭を、自分のお腹の中にしまっておかずに、神さまの存在を知らしていただく燈火(ともしび)として、燈火をあつめて、神さまのお光を高くかかげさせて頂きたいと思ひます。

そうさせて頂くことが、お蔭を頂いている者のなすべき、お礼への第一の義務であろうとおもふのです。

◆編集部からのお願い 「お陰話」等を募集!

「原稿」をお寄せ下さい

- 【内容】・おかげ話・体験談・生きがい・今思う事・信仰話等

※文字数は500字、タイトル、機関名、氏名を記入してください。(原稿用紙は本苑にて用意します。)

【提出先】・編集部 芝田まで ※パソコン文字入力の方は下記までお願いします

芝田 Mail : <t-shibata@katch.ne.jp> 電話・FAX : 0563-72-3689

この反対の場合、奥さんが信仰してご主人に信仰がない場合は、大抵いつの間にかご主人が引き寄せられて、晩年には知らないうちにご主人も拝んでいたということになるようです。男性の場合、青年部時代はずいぶん熱心だったのに、結婚した途端に奥さんに段々と引きずられて、信仰がなくなつたという人が多そうですね。ご主人がしつかりしていないと、奥さんがついてこない。奥さんがついてこなかったら子供は駄目ですね。だから、どうぞ皆さんしつかりよくお願い致します。皆さんの肩にかかつておりますから。 [平成10年3月14日、全国宣伝部長、後継者育成部長研修会参加者とのご面会で]